

白水の滝

白水の滝は、白山国立公園内に位置しており、エメラルドグリーンの白水湖のちょうど下流で、白川郷から国立公園へと続く道路の突き当りにある。72メートルの滝は、白山の噴火によって形作られた。噴火の溶岩が斜面を流れ落ちて固まり、大白川に沿って険しい崖ができたのだ。そのいくぶん濁った、鉱物を豊富に含んだ水が下の川に垂直に落ちる水から名付けられた白水（「白い水」）の滝は、白川郷が伝統的な合掌造りの農家で有名になる前には、主要な観光名所だった。白水の滝の駐車場近くにあるすばらしい景色の展望台からは、滝と、木々が生い茂った周囲の斜面からなる最高の景色を見ることができる。秋には、色とりどりの紅葉です。